



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(9月18日時点)

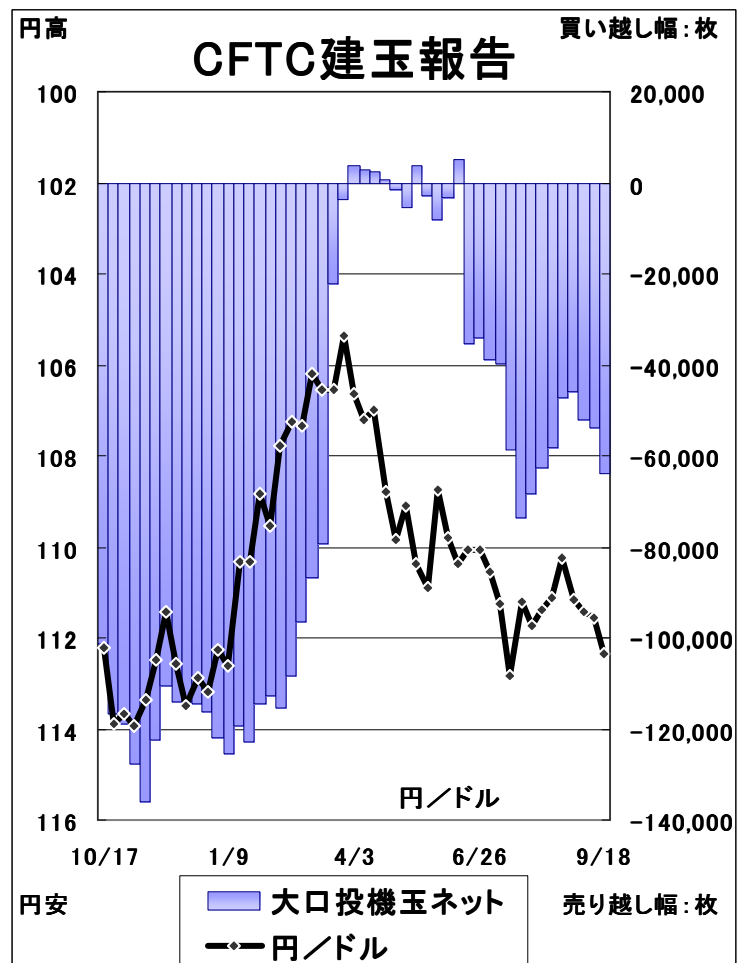
米商品先物取引委員会(CFTC)が9月21日に発表した建玉報告によると、18日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、6万3755枚となり、前週比9869枚拡大。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションをより多く増やしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。トランプ米政権は17日、中国による知的財産権侵害に対抗した制裁関税の第3弾を24日に発動すると発表。中国からの輸入品2000億ドル相当に10%の追加関税を課し、来年には25%に引き上げる。中国も直ちに報復関税措置の実施を表明した。ただ、消費者への影響に配慮し、米国が当面の税率を抑えたほか、携帯電話やパソコン本体を対象品目から外したことを投資家は歓迎。両国の経済に想定されたほどの悪影響が及ばないとの見方が広がり、円売りドル買いが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の買越幅は1666枚となり、前週と比べ9504枚縮小。

欧州中央銀行(ECB)は13日の定例理事会で、マイナス金利の据え置きを含む金融政策の現状維持を決定。量的緩和については、6月の決定通り、資産購入額を10月から半減させた上で、12月末で打ち切る方針を再確認した。ドラギECB総裁は理事会後の記者会見で、ユーロ圏実質GDP(域内総生産)見通しを2018年に2.0%、19年1.8%に小幅下方修正したが、相場の反応は限られた。その後、米生産者物価指数(PPI)の予想外の悪化、米中通商協議の再開報道などを手掛かりにユーロ売りドル買いが進行。ユンケル欧州委員長が「離脱後の英国との密接な貿易・安全保障を約束」と述べたことも支援材料視された。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
09/18	112.33	-63,755	1.1667	1,666
前週比	0.77	-9,869	+0.0061	-9,504



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。